

い 便 の 原 滝

社会福祉法人西仁会 広報誌

〒320-0851 宇都宮市鶴田町3381

TEL 028-632-7577



テクノロジーに依存した日本の夏

毎日の酷暑で日本中が冷房依存に
なっていますが、この夏にふさわし
い怖い話です。

アーノルド・シュワルツェネッガ
ー主演の映画『トータル・リコー
ル』をごらんになった方は多いと思
われます。彼が訪れた火星の気候に
は酸素がなく、住民は地下ドームの
中で生活しています。政府が管理す
る酸素供給システムに住民の生存は
完全に依存し、そのシステムが停止
すれば即座に全員が死に至るとい
う恐ろしい世界でした。この映画で描
かれた世界は、現代の私たちの生
活、特に日本の猛暑における冷房へ
の依存を考えると、決して他人事で
はないように感じられます。

日本の夏は、もはや冷房なしでは
健康を維持し、生存することすら困
難なレベルに達していると言えるで
しょう。熱中症による救急搬送や死
亡のニュースは、毎日のように報じ
られ、冷房はもはや贅品ではな
く、生命維持のためのインフラの一
部と化しています。しかし、電気や
機械などのテクノロジーへの絶対的
な依存は、いつか破綻し、悲劇的な
災害を招く危険性をはらんでいるの
ではないでしょうか。

現代社会は、電力、通信、交通、
医療など、あらゆる面で複雑なテク

ノロジーシステムに深く依存してい
ます。これらのシステムは、私たち
の生活を豊かにし、利便性を向上さ
せてきましたが、同時に、その脆弱
性も内包しています。

例えば、電力供給網の破綻は、最
も直接的な脅威の一つです。大規模
な自然災害（地震、台風、洪水な
ど）や、サイバー攻撃、あるいは老
朽化したインフラの故障によって、
広範囲の停電が発生した場合、冷房
だけでなく、冷蔵庫、医療機器、通
信手段など、生活の基盤となるあら
ゆる機能が停止します。真夏の停電
は、特に高齢者や乳幼児、基礎疾患
を持つ人々にとって、文字通り生命
の危機に直結するでしょう。これ
は、火星の酸素供給停止と本質的に
変わらない状況を生み出す可能性が
あります。

また、テクノロジーへの依存は、
私たちの適応能力やレジリエンス
（回復力）を低下させる側面も持ち
ます。かつては当たり前だった、自
然の風を取り入れる知恵や、日中の
暑さを避けて活動する生活様式、地
域コミュニティでの助け合いといっ
た、生活の知恵に根差した生存戦略
が薄れていくことで、いざシステム
が停止した際に、人々は無力な状態
に陥りやすくなります。

さらに、テクノロジーの進化は、
新たなリスクも生み出します。AIに

よる自動化が進むことで、人間の判
断や介入が不要となる領域が増えれ
ば、システムが予期せぬエラーを起
こしたり、悪意のある攻撃を受けた
りした場合に、誰も対処できない
「制御不能な状態」に陥る危険性も
否定できません。

このままテクノロジーへの依存を
深めていけば、私たちは『トータ
ル・リコール』のようなディストピア
に近づくのでしょうか。そんな悲
劇的な未来を避けるために、私たち
は、テクノロジーの限界と脆弱性を
認識する必要があると思います。電
力網の分散化や再生可能エネルギー
の導入によるレジリエンス強化、サ
イバーセキュリティ対策の徹底、そ
して何よりも、私たち自身の「適応
力」を再構築することも重要でし
ょう。地域コミュニティでの防災訓
練、そしてテクノロジーに頼りすぎ
ない生活の知恵の継承など、酷暑に
対応する生活の変化が求められてい
ます。

『トータル・リコール』の火星が
私たちに問いかけるのは、テクノロ
ジーがもたらす「便利さ」の裏に潜
む「危うさ」です。私たちは、その
警告を真摯に受け止め、より持続可
能で、いかなる事態にも対応できる
しなやかな社会を築いていく責任が
あるのではないのでしょうか。

管理者 羽金 和彦

ファミリー滝の原

子供の日 5月5日

どこか懐かしいお弁当が提供されました。おにぎりを頬張りながら、輝く笑顔が見られました。



6月5日えびうどん・17日大根そば
これからの季節にぴったりな二種類の麺が登場しました。



父の日6月15日
今年はビール風ゼリーで乾杯しました。お父さん、いつもお疲れ様です。



異文化交流会 7月13日
ミャンマーの文化を直に感じられる、素敵な交流会が行われました。伝統的な衣装を見に纏った実習生の方が手を取って異国の世界をご案内します。



ゼリーバイキング 6月29日

昨年大好評だったゼリーバイキングを今年も行いました。イチゴ味と青リンゴ味のゼリーに身も心も涼しくなりました。



七夕 7月7日

今年も空の星を想う日がやってきました。皆様は何を願いましたか？

通所リハビリテーション

栃木県民の日には栃木の名物料理でお祝いです。七夕には、七夕御膳。七夕ちらしと星のハンバーグ。どれもおいしそうです。

今度の壁画は何を作ろうかなと考えて、春なら藤の花をみんなで見たいねと藤を作り、夏なら水族館に行きたいねと、海を題材にしてみました。



体操の後は、レクリエーションです。輪投げや通リハ流ボッチヤなどで楽しく身体を動かしましょう。前回よりうまくできてうれしそうなお人。みんなに応援されたら照れちゃった人。みんないろいろだから楽しいです。



七夕には、短冊にお願い事を書きました。飾りも沢山つるしてもらい、みんなの願いを叶えたい笹の葉はちよつぴり枝が重たそうでした。



滝の原苑

《子どもの日》5月5日(月)

大人のランチの提供をさせて頂きました。メニューは、こいのぼりクリームコロッケ・ミートボール・フライドポテト・厚焼き玉子・スパゲティナポリタン・コーンスープ・人参サラダです。



《栃木県民の日・お誕生日会》6月15日(日)

県民の日という事で、皆さんで県民のうたを歌いました。生まれから栃木県の方もいらつしやれば、結婚を機に栃木県にいらつしやった方など入所様のお話を伺いながら、おやつのご当地ポテトチップスとお誕生日会のケーキを頂きました。

午前水分補給・レモン牛乳 おやつ…ご当地ポテトチップスとケーキ



《七夕屋敷会・七夕お茶会》7月7日(月)

メニューは、七夕そうめん(トッピングにエビやオクラ、星型にんじん、ハートハム等)・枝豆おにぎり・えびフライ・野菜のマリネです。

おやつは七夕デザート盛り合わせです。(カットケーキ・プリン・お星さまスナック盛り合わせ)

《沖縄料理》7月21日(月)

メニューは、もずくごはん・豚肉もどき汁・車ふチャンプル・らっきょう漬物・マンゴープリンです。沖縄料理の特徴は、沖縄ならではの食材の使用です。何といっても豚肉は外せません。他にはらっきょうやマンゴーも有名です。

おやつは黒糖蒸しパンです。



ケアハウス滝の原苑

さあ、五月五日、

そして、七月七日。

子供の日ランチは、なんと大人ランチ。

おとな、いや、いいじ、ばあばが食べても大満足のスペシャルランチでした。

そして、七夕を楽しんで、きらびやかな御膳を美味しく頂きました。一階のロビーには願いのこもった短冊が、所狭しと揺れています。



あじさいゼリーでした。

《あじさい御膳とあじさいゼリー》6月18日(水)

昼食はあじさい御膳を提供させて頂きました。メニューは、冷凍カットマンゴー・じやがいもとそら豆のソテー・ホワイトアスパラのオーロラソースがけ・ふきのおかか煮・イワシ甘露煮の唐揚げ・卵焼き・トマトのマリネ・ピーマンの肉詰めフライ・きゅうりの浅漬け・梅とちりめんじゃこに刻み大葉を混ぜたごはん・すまし汁です。おやつはあじさいゼリーでした。



「ご存知ですか」「7割弱と7割強はどのくらい？」

ある数（かず）と、その範囲を表す言葉に「以下」とか「未満」があります。「以下」はその数を含め、「未満」の場合は含めずに、それより下の範囲を示す言葉ですが、これらの対義語としては「以上」と「超過」があります。これらの言葉が示す範囲は極めて明確であり、異なる解釈の余地はありません。

一方、同じような使われ方をする言葉として「弱」や「強」（Ex: 50人強、弱）がありますが、こちらは「弱」や「強」が示す数値を巡って様々な解釈があるようです。広辞苑などでは『「弱」は、ある数を切り上げたときの数値で、実際はその数値より少し少ないことを表す』とあり、『「強」は、ある数を切り捨てたときの数値で、実際はその数値よりもやや多いことを表す』とあります。つまり、「弱」は基準となる数値より少し少なく、「強」はやや多いという説明ですが、それでは「すこし少ない、やや多い」とは、数値としてどの程度のものなのでしょう。

NHK放送文化研究所が「7割弱」「7割強」という表現について、それらの数値の範囲（A%からB%まで）を回答する形式での調査（2023年）を行っています。その結果を見てもみると、「7割弱」について、最も多かったのは「65%から」、「69%まで」という回答で、それぞれ32%、42%ありました。一方、「7割強」については「70%から」、「75%まで」が最も多い回答で、それぞれ40%、22%ありました。この調査で得られた解釈が最も典型的なものとしていますが、ご納得いただけるでしょうか。

そうした中で「7割弱」について、通常の解釈（7割よりすこし少ない65%から69%まで）とは一致しない「70%から」という回答が10%あり、特に20代ではこの回答が約20%と比較的多い結果が得られています。若い人の中には「7割弱」を「7割と、ちょっと」と解釈している人が結構いることが窺えます。

また、若い世代では「7割強」の解釈範囲が通常の解釈（70%から75%まで）に比較し、**上振れの傾向（「75%から」と回答: 25%）の傾向**が見られます。

数値にこだわるような場合には少々曖昧さを有する言葉「弱、強」の使用は控えた方が良くかも知れませぬ。それにしても、こんなところにも世代間ギャップが見られるのです。世代間ギャップと言えど「二丁目一番地」「よしなに」「手弁当」「全員野球」などといった言葉は若い人には伝わらないようです。こうしたギャップ解消には普段からコミュニケーションを取り合う関係でないと難しいかも知れませぬ。



ファミリー滝の原



介護職

新入職員のお知らせ

編集雑誌

7月18日、関東甲信、北陸、東北南部、翌日には東北北部で梅雨が明けました。西日本では統計史上最も早い6月中の梅雨明け（27日）でした。宇都宮では6月10日の梅雨入り以降、梅雨らしからぬ天候が続きましたが、数回の大雨や雷雨のお蔭でしょうか、梅雨期間（38日）の雨量は平年の113%（293mm）でした。しかし、他の地域の多くは平年より少ない降水量でした。今後暫くは晴れて厳しい暑さが続くとの予報であり、記録的少雨の北陸をはじめ、各地域のコメや野菜の品質・収穫量などへの影響がちよつと心配です。

8月、9月は台風や前線の影響で、大雨や暴風などによる自然災害発生リスクが高まる季節でもあります。この時期は正に台風シーズンであり、その備えも大切ですが、短時間に局地的に激しく降る「ゲリラ雷雨」にも十分な警戒が必要です。

このゲリラ雷雨の発生状況（2024年）については、昨年10月にウエザーニューズから発表がありました。それによれば、ゲリラ雷雨の発生回数は全国で約7万9千回（栃木県約1,100回）、発生のピークは8月下旬です。7月下旬と9月中旬にも多発しています。約4人に3人がゲリラ雷雨に遭遇し、そのうちの約半数以上（51.5%）が被害にあっています。その被害内容ですが、一番多かったのは交通機関に影響（約30%）、次に道路冠水（24%）、落雷による停電（約15%）などと続きます。こうした被害にあった人の多い上位の3県（埼玉69%・栃木67%・茨城62%）では「落雷による停電」が約半数にのぼります。また、ゲリラ豪雨に遭遇した人のうち、約15%の人が命の危機を感じたと回答しています。その危機の状況については「近くに落雷」が最も多く（78%）、次いで「道路冠水で往生した」が約18%となっています。気象庁によれば、1時間降水量80mm以上、日降水量300mmなど激しく降る強い雨は、1980年頃と比較して、約2倍程度に頻度が増加しているそうです。遭遇した場合の対応は、最新の気象情報の確認と災害リスクのより少ない場所に身を置くことでしょうか。

7月20日の参院選で与党の自民党、公明党が大敗しました。昨年10月の衆議院選挙での過半数割れに続く与党の敗北で、与野党合意がない限り、政策を実現できない政治状況が懸念されます。国政に停滞を招くことなく与野党は議論を尽くして前に進めていく欲しいですね。

暑さが続きます。くれぐれもご自愛ください

次号は11月1日発行予定です。